

信州皇一の金、十四、確に受取りました。
他の人の如き次第、先入の道ります。29
次おりは、朝鮮は三年所二、大森書房、内僕
の家の道、朝鮮に。

僕の改定は、中央台論に書き、葛西の
つりこの文章は、意識して存在なりと書き、
。佐佐木千之君の、文藝王国に、現在9
僕の気持ちがあり、本気な書き、たうた。よ
んて、文藝に。

僕も作家として、葛西の、文藝と、悼心念はか
なり、文藝に、併し諸君のやうに、純粋な救済を
感じて、おない。諸君が考へて、おるより、僕
は、葛西の解り、つらい、文藝がする。
2、文藝の野と、文の問話した事、文の文
僕は、絶対的文、葛西と、是認する気がおい。を

9.5.25 予大書房
東京市本局
菊野の士おニル

3.8.29
一月廿九
廣津社